

徳島市加茂名南小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○自分で考え、判断し、行動する児童を育成する授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 長野 則子
委員 校長：黒田博章 教頭：富永由美子 主幹教諭：田淵由起子
 4年主任：丸山ひろみ 体育主任：中井雄揮 特別支援主任：相原恵子
 特支コーディネーター：岡田幸江、阿部早希、木村梓 養護教諭：高橋なつみ

校長

黒田 博章

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

外部講師や管理職、教員相互による授業参観、校内研修等、さまざまな機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な知識・技能を身に付けようとする意欲が育ち、集中して学習に取り組んでいる。 ●当該学年で身に付けておくべき知識・技能が確実に身に付いておらず、学力の二極化も見られる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得している。 ・知識・技能の習得のために、適切に学習用具(ノート・ものさし・タブレット端末等)が活用できる。	・個に合わせて、ドリルやタブレット端末を活用して、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付くようにする。 ・朝の活動の時間や隙間の時間を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のためにプリントやテストを繰り返し行い、定着を図る。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペア、グループ学習での話し合いを円滑に進めることができ、考えを整理したり、まとめたりすることができる。 ●自分の考えを単語で伝えたり、他者の意見に流されてしまったり、個人での発信が課題である。語彙も少ない。	・話型や手引き等を活用し、目的に応じて、自分の考えと比較しながら聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる。 ・一人一人が自信を持って、自分の考えを表現することができる。	・児童同士の信頼関係づくり、認め合える仲間作りを行い、表現しやすい環境作りに努める。 ・児童が自信を持って表現できるように、ヒントカードを用いたり、言葉を補ったりする等、手立てを講じる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の思いや考えを積極的に書くことができるようになってきた。 ●つまずいても最後まで諦めず取り組んだり、自ら課題を見つけて取り組んだりする児童は少ない。	・一人一人が毎時間の学習に目標を持ち、積極的に授業に参加している。 ・「次はこんなことを学びたい。」という意欲を持って、授業や家庭学習に取り組む。	・前時のふり返りから本時の授業に繋げたり、体験活動やグループ活動を取り入れたりと、「わかる」授業を充実する。研修を行い、教員の授業力の向上を図る。 ・家庭学習の手引きや進め方を活用してもらい、家庭学習の充実を図る。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

